

宮城県建設工事総合評価落札方式
(技術提案チャレンジ型)の手引き
— 追補版 —

(試 行)

- 注1) 本手引きは説明会用であり、運用に当たっては、後日、正式な手引きを契約課ホームページ、入札情報サービスに掲載しますので、そちらをダウンロードし、使用願います。
- 注2) 本手引き(簡易型・標準型)の変更内容は、特別簡易型及び高度型にも同様に適用となります。後日、手引きを契約課ホームページ、入札情報サービスに掲載しますので、併せてご確認願います。

令和3年4月1日

宮 城 県

追補版 総合評価落札方式 技術提案チャレンジ型

◎本追補版は、技術提案チャレンジ型について内容を取りまとめたものであり、本追補版に記載のない事項については「宮城県建設工事総合評価落札方式（簡易型・標準型）の手引き」を参照すること。なお、技術提案チャレンジ型の取り扱いについては簡易型・標準型（施工計画型）を準用するとともに、技術提案チャレンジ型の総合評価技術資料は「様式-チャ1～2」を使用するものとする。

1-1 総合評価落札方式 技術提案チャレンジ型について

技術提案チャレンジ型については価格以外の評価において、実績を求める評価項目を無くし、施工計画等の評価割合を高くすることで、新規参入企業や受注実績の少ない企業の受注機会拡大を図ることを目的としたものである。

なお、技術提案チャレンジ型については、前年度に発注工種の受注実績が無いことを入札参加条件とする。

1-2 総合評価落札方式の種類及び適用区分

(1) 総合評価落札方式の種類

型式	簡易型		標準型		高度型	技術提案チャレンジ型
	実績重視型	施工計画型	施工計画型	技術提案型		
技術特性	技術的工夫の余地の比較的小さい工事で、工程管理や施工上配慮すべき事項、品質管理方法等の施工計画、同種・類似工事の施工経験、工事成績等と入札価格を一体として評価することが妥当であると認める工事	高度な技術力を審査・評価する必要のある工事で、環境の維持、交通の確保、特別な安全対策、リサイクル対策等と入札価格を一体として評価することが妥当であると認める工事又は設計額が1億円以上の工事	技術的工夫の余地の大きい工事で、入札に参加を希望する者に構造上の工夫や特殊な施工方法等を含む高度な技術提案を求める工事	技術的工夫の余地の比較的小さい工事で、施工の手順や品質管理、施工上の課題に対する技術的所見等に特化して評価することが妥当であると認める工事		
適用範囲	設計額(税込み)が250万円以上1億円未満(概ね5千万円未満)	設計額(税込み)が1千万円以上1億円未満(概ね5千万円以上)	設計額(税込み)が1億円以上(概ね3億円未満)	設計額(税込み)が1千万円以上(概ね1億円以上5億円未満)	設計額(税込み)が1千万円以上(概ね5億円以上)	設計額(税込み)が5千万円以上3億円未満
評価項目	・企業評価 ・配置する技術者の評価 ・労働福祉 ・地域貢献 ・その他	・企業評価 ・配置する技術者の評価 ・労働福祉 ・地域貢献 ・施工計画等 ・その他	・企業評価 ・配置する技術者の評価 ・労働福祉 ・地域貢献 ・施工計画等 ・その他	・企業評価 ・配置する技術者の評価 ・労働福祉 ・地域貢献 ・技術提案等 ・その他	・企業評価 ・配置する技術者の評価 ・技術提案 ・その他	・企業評価 ・配置する技術者の評価 ・労働福祉 ・地域貢献 ・施工計画等
価格以外の評価点	30～36点	35～41点	45～51点	42.5～43.5点	53.5点	47点
価格評価点	80点	80点	70点	70点	60点	70点
総合評価点	110～116点	115～121点	115～121点	112.5～113.5点	113.5点	117点

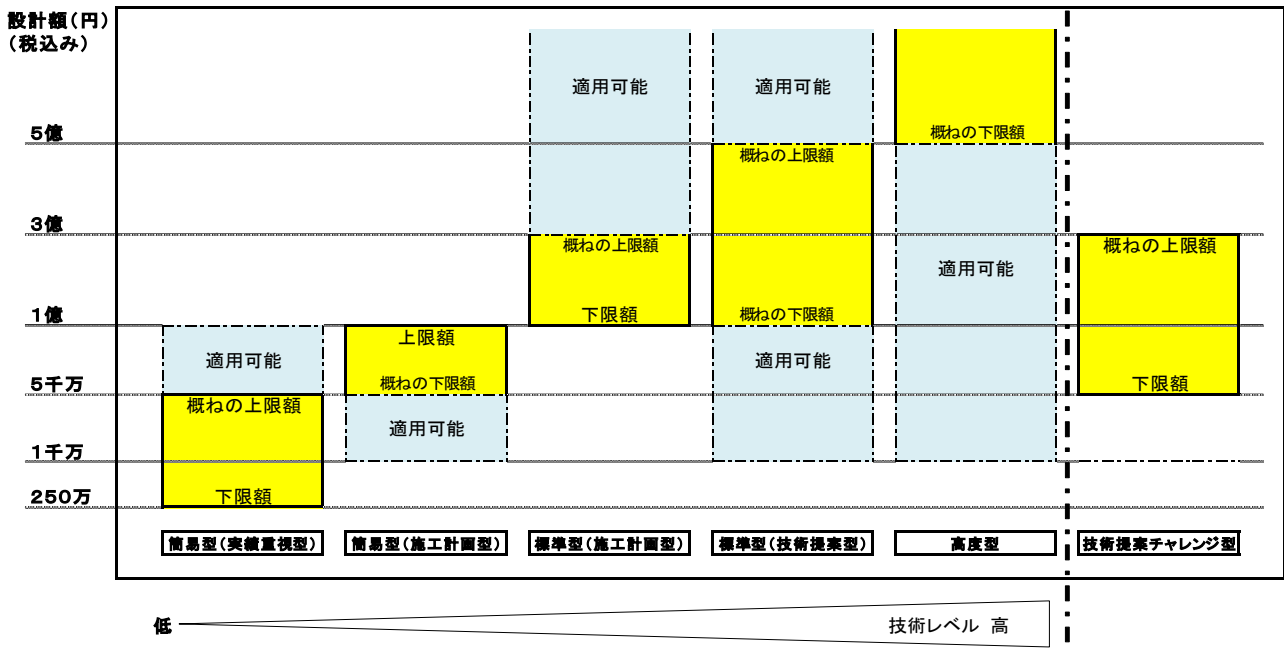
※価格以外の評価点は、工事毎（一般土木，建築・設備，災害復旧，県内産資材活用）に異なる。

※高度型の詳細については「宮城県建設工事総合評価落札方式（高度型）の手引き」を参照のこと

※政府調達協定（WTO）の対象工事は、基本的に標準型（施工計画型・技術提案型）を適用するものとし、評価項目は工事毎に協定を踏まえて設定するものとする。また、通常工事同様、調査基準価格及び施工体制事前提出方式による数値的判断基準を適用するものとする。

(2) 総合評価落札方式の適用区分

総合評価落札方式の適用区分



3 総合評価落札方式（技術提案チャレンジ型）における審査・評価

3-1 総合評価算定基準

1 総合評価点の算定方法

(1) 総合評価は、入札参加者のうち、次の要件をすべて満たす者を対象に行う。

- ア 入札公告に定めた入札参加資格（登録業種，登録等級，事務所の所在地及び優遇措置条件）についてすべての条件を満たし，無効でない者。
 - イ 入札価格が予定価格を超えない者。
 - ウ 価格以外の評価を行うため，入札公告で定めた技術等の資料（以下「総合評価技術資料」という。）を提出した者。ただし，総合評価技術資料に記載がないものは除く。
 - エ 入札価格が調査基準価格を下回った入札で，履行能力確認調査における数値的判断基準で落札不相当と判定されなかった者。
- なお，ア～ウの要件を満たさず，無効となったものは，エの数値的判断基準は適用しない。

(2) 総合評価点は次の式により算定する。

$$\boxed{\text{総合評価点}} = \boxed{\text{価格評価点}} + \boxed{\text{価格以外の評価点}}$$

(3) 価格評価点と価格以外の評価点の配点は，次のとおりとする。

ア 価格評価点

技術提案チャレンジ型 70.00点

イ 価格以外の評価点

技術提案チャレンジ型 47.00点

ウ 総合評価点

技術提案チャレンジ型 117.00点

[*評価点は，小数点以下第3位を四捨五入し，小数点以下第2位とする。]

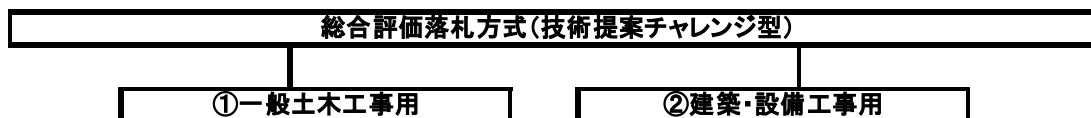
※評価項目の錯誤及び虚偽の判断基準の例

評価の視点		評価項目	錯誤			虚偽
			点数変更なし	最低点再評価	企業実績どおりの評価	無効
技術力	企業評価	ISO9001・14001・みちのく環境管理規格認証取得状況	・取得状況より少ない申告	・取得状況より多い申告で転記ミス等説明できる場合等		説明できない架空の申告をした場合
		建設キャリアアップシステムの活用	・事業者登録を行っているが未導入で申告	・未導入であるが、事業者登録済みで申告し、転記ミス等説明できる場合		説明できない架空の申告をした場合
		地理的条件	・管内の評価を低く申告	・管内の評価を高く申告		説明できない架空の申告をした場合
	配置する技術者評価	継続教育(CPD)の取組状況	・取得単位より少ない申告 ・取得単位数が違っても同区分の場合	・取得単位より多い申告で転記ミス等説明できる場合 ・入札時点において登録申請中のもの・対象団体以外の申告等 ・総合評価技術資料提出受付期限を過ぎた証明書での申告等		説明できない架空の申告をした場合
社会性	労働福祉	建設業退職金共済制度導入の有無	対象外(入札参加者の自己申告で評価し工事完了時に発注者が申告状況を確認)			
		退職一時金・企業年金制度導入の有無	・導入状況より少ない申告	・制度の認識違い、転記ミス等説明できる場合等		説明できない架空の申告をした場合
		障害者雇用状況	・雇用状況より少ない申告	・雇用状況より多い申告で転記ミス等説明できる場合		説明できない架空の申告をした場合
		労働条件の明示状況	対象外(入札参加者の自己申告で評価し工事完了時に発注者が申告状況を確認)			
		女性のチカラを活かす企業の認証取得状況	・認証取得済みの場合で認証なしとした申告	・認証なしの場合で認証取得済みで申告し転記ミス等説明できる場合		説明できない架空の申告をした場合
地域性	地域・貢献	県内企業の活用計画割合	対象外(入札参加者の自己申告で評価し工事完了時に発注者が申告状況を確認)			
		宮城県のスマイルサポーターとしての実績(過去5年間)	・管理者や管内の評価を低く申告	・評価対象とする期間外の実績の申告 ・県の実績の認識違いによる申告等		説明できない架空の申告をした場合
		県内での企業の社会的責任等(CSR)の実績(過去2年間)	・管内の評価を低く申告	・他の評価項目で加点された内容を申告 ・評価対象とする期間外の実績の申告 ・他県での実績の申告		説明できない架空の申告をした場合
	生産性向上	ICT施工・3次元化等の活用提案	・「ICT施工・3次元化等活用提案 工事計画書」より低く申告	・「ICT施工・3次元化等活用提案 工事計画書」より高く申告 ・「3次元データの納品」のみの活用を申告		
	施工計画等	施工の手順(工程表)(*1)(*2)		(*1)工程表に記載の無い場合 全視点を「不適切(-1点)」 合計で-5点 (*2)(様式-簡2の各「評価の視点」について) 1視点以上記載がありその他の視点には記載が無い場合、記載の無い視点は「不適切(-1点)」とする。		発注者が設定した評価項目のうち1項目でも全く記載が無い場合 ヒアリングについては開札後、ヒアリングの指定日時に配置技術者が出席出来ない場合
品質管理の頻度・方法(*2)						
施工上の課題に対する技術的所見(*2)						
	減点項目	不誠実な行為の有無	過去3ヶ月以前の不誠実な行為の申告	・認識違い、転記ミス等説明ができる場合	・公告日の翌日以降落札者の決定までに該当行為があった場合は、発注者が減点措置を講じる。	故意に入札公告日以前の該当行為を申告しない場合

別紙 1 価格以外の評価項目及び評価点

1. 総合評価落札方式(技術提案チャレンジ型)の価格以外の評価項目

(1) 総合評価落札方式(技術提案チャレンジ型)の工事区分による適用区分



(2) 総合評価落札方式(技術提案チャレンジ型)適用区分別の価格以外の評価項目

① 一般土木工事用

評価項目		評価点
イ	個別工事に対する企業及び技術者等の評価	20.00点
	技術力 7.50点	
	社会性 3.00点	
	地域性 9.50点	
ロ	生産性向上 2.00点	2.00点
ハ	施工計画等 12.50点×2項目=25.00点	25.00点
価格以外の評価点計 (イ+ロ+ハ)		47.00点
不誠実な行為の有無		最大 -8.00点

② 建築・設備工事用

評価項目		評価点
イ	個別工事に対する企業及び技術者等の評価	20.00点
	技術力 7.50点	
	社会性 3.00点	
	地域性 9.50点	
ロ	生産性向上 2.00点	2.00点
ハ	施工計画等 12.50点×2項目=25.00点	25.00点
価格以外の評価点計 (イ+ロ+ハ)		47.00点
不誠実な行為の有無		最大 -8.00点

5 総合評価方式における価格以外の評価項目及び評価点

(1) 総合評価方式における共通評価項目

評価の視点	評価項目	簡易型		標準型		高度型	技術提案 チャレンジ型		
		実績重視型	施工計画型	施工計画型	技術提案型				
技術力	企業評価	同種工事の経験(過去15年間)	○	○	○	○	○	—	
		工事成績評定(過去5年間の平均)	○	○	○	○	○	○	—
		優良建設工事施工業者表彰等(過去5年間)	○	○	○	○	○	○	—
		ISO9001・14001・みちのくEMS認証取得状況	○	○	○	○	○	○	○
		建設キャリアアップシステムの活用	○	○	○	○	○	○	○
		地理的条件	○	○	○	○	○	○	○
	配置する 技術者 の評価	同種工事の経験(過去15年間)	○	○	○	○	○	○	—
		工事成績評定(過去5年間の最高評点)	○	○	○	○	○	○	—
		宮城県建設工事事故防止優良者表彰等または同表彰等 工事の(監理)主任技術者としての実績(過去5年間)	○	○	○	○	○	○	—
		継続教育(CPD)の取組状況	○	○	○	○	○	○	○
		ICT活用証明書・週休2日実施証明書の有無	○	○	○	○	○	○	—
		社会性	労働福祉	建設業退職金共済制度導入の有無	○	○	○	○	—
	退職一時金・企業年金制度導入の有無			○	○	○	○	—	○
	障害者雇用状況			○	○	○	○	—	○
労働条件の明示状況	○			○	○	○	—	○	
働き方改革	女性のチカラを活かす企業の認証取得状況		○	○	○	○	—	○	
地域性	地域・貢献	県内企業の活用計画割合	○	○	○	○	—	○	
		宮城県または県内市町村の管理する道路の除融雪業務 の実績(過去5年間)	●(注1)	●(注1)	●(注1)	—	—	—	
		宮城県または県内市町村の施設管理業務の実績(過去5 年間)	●(注1)	●(注1)	●(注1)	●(注1)	—	—	
		宮城県のスマイルサポーターとしての実績(過去5年間)	○	○	○	○	—	○	
		県内での災害 時における地 域貢献の実績	協定の有無	○	○	○	—	—	—
			災害対策基本法に基づく指定地方公共機 関等の有無	○	○	○	—	—	—
	災害時の配備体制及び訓練実施の有無 (過去1年間)		○	○	○	—	—	—	
	実績の有無(過去5年間)	○	○	○	—	—	—		
	県内での企業の社会的責任等(CSR)の実績(過去2年 間)	○	○	○	○	—	○		
	震災貢献	東日本大震災での対応実績の有無	○	○	○	○	—	—	
生産性向上	ICT施工・3次元化等の活用提案	○	○	○	○	○	○		
施工計画等	施工の手順(工程表)	—	—	—	—	—	—		
	品質管理の頻度・方法	—	△(注2)	□(注3)	—	—	□(注3)		
	施工上の課題に対する技術的所見	—	—	—	—	—	—		
技術提案等	配置技術者の能力(ヒアリング評価)	—	—	—	—	—	—		
	施工上配慮すべき事項(複数選択可)	—	—	—	◎(注4)	○	—		
	技術提案(複数選択可)	—	—	—	—	—	—		
災害対 応実績	当該災害復旧工事箇所です自主的に応急対応した実績の有無	◇(注5)	◇(注5)	◇(注5)	—	—	—		
	当該災害復旧工事箇所の応急工事実績の有無	—	—	—	—	—	—		
地域性 (2)	県内産資材の活用計画割合	◆(注6)	◆(注6)	◆(注6)	—	—	—		
	不誠実な行為の有無	○	○	○	○	—	○		

・○印は、共通評価項目

・●(注1)印は、建築、設備工事は対象外

・△(注2)印は、いずれか1つの項目を設定する。

・□(注3)印は、いずれか2つの項目を設定する。

・◎(注4)印は、「配置技術者の能力」、「施工上配慮すべき事項」、「技術提案」いずれかの小項目の中から3項目以上10項目以内で設定する。

・◇(注5)印は、災害復旧工事用の場合に対象とする。

・◆(注6)印は、県内産資材活用評価の場合に対象とする。

※△□◎は発注者が設定する。

技術提案チャレンジ型－①総合評価方式における評価項目と評価点(一般土木工用)

評価の視点	評価項目	項目	評価基準	配点	倍率	評点 (配点×倍率)	評価点	評価点 持ち点		
技術力	企業評価	ISO9001・14001・みちのくEMS認証取得状況	認定未取得	0	1.5	0.0	0.000	6.50		
			ISO9001, ISO14001またはみちのく環境管理規格の何れかひとつを取得	1		1.5	0.750			
			ISO9001及びISO14001の取得またはISO9001及びみちのく環境管理規格の取得	2		3.0	1.500			
		建設キャリアアップシステムの活用	未導入	0	3.0	0.0	0.000			
	建設キャリアアップシステムの事業者登録済み		1	3.0		1.500				
	地理的条件	○	工事箇所を所管する土木事務所管内に本社・本店が10年未満所在または所在なし	0	3.5	0.0	0.000			
			工事箇所を所管する土木事務所管内に本社・本店が10年以上所在	2		7.0	3.500			
	評点満点の合計						13.0		6.500	
	配置する技術者の評価	継続教育(CPD)の取組状況	○	証明なし	0	1.0	0.0		0.000	
				証明あり(奨励単位の1/2未満)	1		1.0		0.250	
証明あり(奨励単位の1/2以上奨励単位未満)				2	2.0		0.500			
証明あり(奨励単位以上)				4	4.0		1.000			
評点満点の合計						4.0	1.000			
社会性	労働福祉	建設業退職金共済制度導入の有無	自社未導入	0	2.0	0.0	0.000			
			自社導入、一次下請予定業者に未導入業者がいる	1		2.0	0.182			
			自社導入(下請なし)または自社及び全一次下請予定業者導入済み	2		4.0	0.364			
		退職一時金制度・企業年金制度導入の有無	○	未導入	0	1.0	0.0	0.000		
				導入済み	2		2.0	0.182		
		障害者雇用状況	○	法定雇用義務未達成、雇用障害者0人	0	4.0	0.0	0.000		
	法定雇用義務達成、障害者雇用1人以上			2	8.0		0.727			
労働条件の明示	○	労働条件を明示していない下請予定業者がいる	0	4.0	0.0	0.000				
		自社及び全下請予定業者が労働条件を明示している	2		8.0	0.727				
女性の子カラを活かす企業の認証取得状況	○	認証なし	0	5.5	0.0	0.000				
		女性の子カラを活かす企業の認証取得済み	2		11.0	1.000				
評点満点の合計						33.0	3.000			
地域性	地域・貢献	県内企業の活用計画割合	県内企業の契約割合30%未満	0	3.0	0.0	0.000			
			県内企業の請負額割合30%以上70%未満	1		3.0	1.000			
			県内企業の請負額割合70%以上	2		6.0	2.000			
			県内企業の請負額割合70%以上かつ土木事務所管内企業の請負額割合50%以上	4		12.0	4.000			
	宮城県のスマイルサポーターとしての実績(過去5年間)	○	実績なし	0	3.0	0.0	0.000			
			県のスマイルサポーターとしての実績あり	1		3.0	1.000			
	県内での企業の社会的責任等(CSR)の実績(過去2年間)	○	県内のスマイルサポーターとしての実績ありかつ土木事務所管内での実績あり	2	3.5	6.0	2.000			
実績なし			0	0.0		0.000				
実績あり			2	7.0		2.333				
評点満点の合計						10.5	3.500			
生産性向上	生産性向上	ICT施工・3次元化等の活用提案	活用なし	0	1.0	0.0	0.000			
			ICT施工・3次元化等の一部活用(工事計画書の施工プロセスで1~2つ活用する場合)	0.5		0.5	0.500			
			ICT施工・3次元化等の一部活用(工事計画書の施工プロセスで3~4つ活用する場合)	1		1.0	1.000			
			ICT施工・3次元化等の全面的な活用(工事計画書の施工プロセスで全て活用する場合)	2		2.0	2.000			
評点満点の合計						2.0	2.000			
中 計										
施工計画等	施工の手順(工程表)	△ (注1)	2項目×評価の視点(5項目)×(優(2点)、良(1点)、可(0点)、不適切(-1点))	-10	1.25	-12.5	-12.500			
				~		~				
				20		25.000				
施工計画等	品質管理の頻度・方法	△ (注1)	2項目×評価の視点(5項目)×(優(2点)、良(1点)、可(0点)、不適切(-1点))	-10	1.25	-12.5	-12.500			
				~		~				
				20		25.000				
施工計画等	施工上の課題に対する技術的所見	△ (注1)	2項目×評価の視点(5項目)×(優(2点)、良(1点)、可(0点)、不適切(-1点))	-10	1.25	-12.5	-12.500			
				~		~				
				20		25.000				
評点満点の合計						25.0	25.000			
中 計										
減点	不誠実な行為の有無	○	文書での改善指示複数回数(工事成績の減点措置複数件)	-2	4.0	-8.0	-8.000			
			文書での改善指示1回目(工事成績の減点措置1件)	-0.5		-2.0	-2.000			
			なし	0		0.0	0.000			
合 計										
								47.00		

△(注1)印は、いずれか2つの項目を発注者が設定します。

技術提案チャレンジ型—②総合評価方式における評価項目と評価点(建築・設備工専用)

評価の視点	評価項目	項目	評価基準	配点	倍率	評点 (配点×倍率)	評価点	評価点 持ち点	
技術力	企業評価	ISO9001・14001・みちのくEMS認証取得状況	認定未取得	0	1.5	0.0	0.000	6.50	
			ISO9001, ISO14001またはみちのく環境管理規格の何れかひとつを取得	1		1.5	0.750		
			ISO9001及びISO14001の取得またはISO9001及びみちのく環境管理規格の取得	2		3.0	1.500		
		建設キャリアアップシステムの活用	未導入	0	3.0	0.0	0.000		
			建設キャリアアップシステムの事業者登録済み	1		3.0	1.500		
			工事箇所を所管する土木事務所管内に本社・本店が10年未満所在または所在なし	0		3.5	0.0		0.000
	工事箇所を所管する土木事務所管内に本社・本店が10年以上所在	2	7.0	3.500					
	評点満点の合計						13.0	6.500	
	配置する技術者の評価	継続教育(CPD)の取組状況	〇	証明なし	0	1.0	0.0	0.000	1.00
				証明あり(奨励単位の1/2未満)	1		1.0	0.250	
証明あり(奨励単位の1/2以上奨励単位未満)				2	2.0		0.500		
証明あり(奨励単位以上)				4	4.0		1.000		
評点満点の合計						4.0	1.000		
社会性	労働福祉	建設業退職金共済制度導入の有無	自社未導入	0	2.0	0.0	0.000	3.00	
			自社導入、一次下請予定業者に未導入業者がいる	1		2.0	0.182		
			自社導入(下請なし)または自社及び全一次下請予定業者導入済み	2		4.0	0.364		
		退職一時金制度・企業年金制度導入の有無	未導入	0	1.0	0.0	0.000		
			導入済み	2		2.0	0.182		
		障害者雇用状況	法定雇用義務未達成、雇用障害者0人	0	4.0	0.0	0.000		
	法定雇用義務達成、障害者雇用1人以上		2	8.0		0.727			
	労働条件の明示	労働条件を明示していない下請予定業者がいる	0	4.0	0.0	0.000			
自社及び全下請予定業者が労働条件を明示している		2	8.0		0.727				
女性の子カラを活かす企業の認証取得状況	認証なし	0	5.5	0.0	0.000				
	女性の子カラを活かす企業の認証取得済み	2		11.0	1.000				
評点満点の合計						33.0	3.000		
地域性	地域・貢献	県内企業の活用計画割合	県内企業の契約割合30%未満	0	3.0	0.0	0.000	9.50	
			県内企業の請負額割合30%以上70%未満	1		3.0	1.000		
			県内企業の請負額割合70%以上	2		6.0	2.000		
			県内企業の請負額割合70%以上かつ土木事務所管内企業の請負額割合50%以上	4		12.0	4.000		
	宮城県のスマイルサポーターとしての実績(過去5年間)	実績なし	0	3.0	0.0	0.000			
		県のスマイルサポーターとしての実績あり	1		3.0	1.000			
県内での企業の社会的責任等(CSR)の実績(過去2年間)	実績なし	0	3.5	0.0	0.000				
	実績あり	2		7.0	2.333				
評点満点の合計						10.5	3.500		
生産性向上	生産性向上	ICT施工・3次元化等の活用提案	活用なし	0	1.0	0.0	0.000	2.00	
			ICT施工・3次元化等の一部活用(工事計画書の施工プロセスで1~2つ活用する場合)	0.5		0.5	0.500		
			ICT施工・3次元化等の一部活用(工事計画書の施工プロセスで3~4つ活用する場合)	1		1.0	1.000		
			ICT施工・3次元化等の全面的な活用(工事計画書の施工プロセスで全て活用する場合)	2		2.0	2.000		
評点満点の合計						2.0	2.000		
中 計									
施工計画等	施工の手順(工程表)【評価対象外】	△(注1)	2項目×評価の視点(5項目)×(優(2点)、良(1点)、可(0点)、不適切(-1点))	-10	1.25	-12.5	-12.500	25.00	
	品質管理の頻度・方法			~		~			
	施工上の課題に対する技術的所見			20		25.000			
評点満点の合計						25.0	25.000		
中 計									
減点	不誠実な行為の有無	〇	文書での改善指示複数回数(工事成績の減点措置複数件)	-2	4.0	-8.0	-8.000	0.00	
			文書での改善指示1回目(工事成績の減点措置1件)	-0.5		-2.0	-2.000		
			なし	0		0.0	0.000		
合 計									
								47.00	

△(注1)印は、いずれか2つの項目を発注者が設定します。

別紙2 価格以外の評価項目における評価基準

技術提案チャレンジ型の評価項目については、宮城県建設工事総合評価落札方式（簡易型・標準型）の手引きを参照すること

別紙3 価格以外の評価項目における提出資料・確認方法

評価の視点		評価項目	実績資料(落札候補者のみ)	確認方法(落札候補者のみ)
技術力	企業評価	ISO9001・14001・みちのくEMSの認証取得状況	・資料不要	・下記により確認 ※みやぎ行政イントラネット>契約課-建設工事入札参加登録業者情報>建設工事入札参加登録業者データの基本情報(Excel) http://zao.intra.pref.miyagi.jp/keiyaku/gyousya.htm
		建設キャリアアップシステムの活用	・資料不要	・下記により確認 ※(一財)建設業振興基金HP>建設キャリアアップシステム登録事業者検索により確認 https://www.mobile.ccu.jp/#/open_jigyousya_search
		地理的条件	【主たる営業所(本社・本店)の所在(10年以上)】 ・登記事項証明書(履歴事項全部証明書に限る)の写し ・登記事項証明書で証明できない場合は、公的に証明できる資料の写し(入札参加登録や建設業許可または変更届等、10年以上所在していることが確認できる資料の写し)	・左記資料により確認
	配置する技術者の評価	配置する技術者の継続教育(CPD)の取組状況	・継続教育の証明書の写し	・左記資料により確認
社会性	労働福祉	建設業退職金共済制度導入の有無	・資料不要	・入札者の申告点のままとする。 ※工事完成時に確認し、申告された評価基準の範囲から下回った場合は、工事成績評点の減点対象とする。
		退職一時金・企業年金制度導入の有無	・資料不要(CIICへの登録が未了の場合には「経営規模等評価結果通知書」の写し)	・下記により確認または左記資料により確認 ※財団法人建設業情報管理センター(CIIC)HP>経営事項審査結果の公表 http://www7.ciic.or.jp/
		障害者雇用状況	・資料不要	・下記により確認 ※みやぎ行政イントラネット>契約課-建設工事入札参加登録業者情報>建設工事入札参加登録業者データの基本情報(Excel) http://zao.intra.pref.miyagi.jp/keiyaku/gyousya.htm *データの見方(障害者雇用評定のコメントを参照)
		労働条件の明示状況	・資料不要	・入札者の申告点のままとする。 *工事施工中、完成時に確認し不適切な状況が確認された場合には、工事成績評点での減点対象とする。
		女性のチカラを活かす企業の認証取得の有無	・資料不要	・下記により確認 ※みやぎ行政イントラネット>契約課-建設工事入札参加登録業者情報>建設工事入札参加登録業者データの基本情報(Excel) http://zao.intra.pref.miyagi.jp/keiyaku/gyousya.htm *データの見方(ポジティブ認証の取得状況を参照)
地域性	地域・貢献	当該工事に係る県内企業の活用計画割合	・資料不要	・入札者の申告点のままとする。 ※工事完成時に確認し、申告された評価基準の範囲から下回った場合は、工事成績評点の減点対象とする。
		宮城県のスマイルサポーターとしての実績(過去5年間)	・スマイルサポーターに関する覚書 ・スマイルサポーター実績報告 ・スマイルサポーター構成員名簿 【入札参加者の所属する団体がスマイルサポーターとして認定を受けている場合】 ・当該団体に加入していることを証する書類	・左記資料の確認
		県内での企業の社会的責任等(CSR)の実績(過去2年間) ※他の評価項目で加点された同じ内容での実績は除く。	・企業として参加したことが確認できる資料の写し(活動に関する覚書、協定書又は活動要領、活動の実施報告書、証明書等) 【入札参加者の加入又は参加する団体としての活動の場合】 ・上に加え、入札参加者が当該活動に参加したことを証する書類(主催者の参加証明書又は参加者名簿など) *別紙2の当該評価項目記載箇所の「評価対象の例示」参照 *活動に関する覚書、協定又は活動要領等に基づかない活動は、これらの資料は提出不要	・左記資料の確認
生産性向上	施工計画等	ICT施工・3次元化等の活用提案	・ICT施工・3次元化等の活用提案 工事計画書	・左記資料の確認 ・落札候補者から提出された「ICT施工・3次元化等の活用提案 工事計画書」に基づき、申告した評価内容の整合性を確認。 ※工事完成時に確認し、「ICT施工・3次元化等の活用提案 工事計画書」で提案した技術を実施しなかった場合は、工事成績評点の減点対象とする。
		施工の手順(工程表) 品質管理の頻度・方法 施工上の課題に対する技術的所見	・資料不要	・指定様式への記載の確認
減点		不誠実な行為の有無	・資料不要	・下記により確認 ※宮城県共通基盤システム>電子会議室>企業評価(不誠実な行為)データベース

※イントラ等の更新状況により、資料不要とあるものについても、資料の提出を求める場合があります。

価格以外の評価項目及び評価基準（一般土木工事用）

評価の視点		評価項目	評価基準値	評価			
				満点	得点	倍率	評点
技術力	企業評価	ISO9001・14001・みちのくEMS認証取得状況	0 認証未取得	3	0	1.5	0
		建設キャリアアップシステムの活用	0 未導入	3	0	3	0
		地理的条件	0 工事箇所を所管する土木事務所管内に本社・本店が10年未満所在または所在なし	7	0	3.5	0
	配置する技術者の評価	継続教育(CPD)の取組状況	0 証明なし	4	0	1	0
社会性	労働福祉	建設業退職金共済制度導入の有無	0 自社未導入	4	0	2	0
		退職一時金制度・企業年金制度導入の有無	0 未導入	2	0	1	0
		障害者雇用状況	0 法定雇用義務未達成、雇用障害者0人	8	0	4	0
		労働条件の明示	0 労働条件を明示していない下請予定業者がいる	8	0	4	0
		女性のチカラを活かす企業の認証取得状況	0 認証なし	11	0	5.5	0
地域性	地域・貢献	県内企業の活用計画割合	0 県内企業の契約割合30%未満	12	0	3	0
		宮城県のスマイルサポーターとしての実績(過去5年間)	0 実績なし	6	0	3	0
		県内での企業の社会的責任等(CSR)の実績(過去2年間)	0 実績なし	10.5	0	3.5	0
生産性向上		ICT施工・3次元化等の活用提案	0 活用なし	2	0	1	0
施工計画等	課題1	施工の手順(工程表)	発注者で評価を行います	12.5	0	1.25	0
	課題2	品質管理の頻度・方法	発注者で評価を行います	12.5	0	1.25	0
減点		不誠実な行為の有無	0 なし	0	0	4	0

工事番号	満点	評点	持点割合	価格以外の評価点
	13.0	0.00	6.50	0.00
工事名	4.0	0.00	1.00	0.00
業者名	33.0	0.00	3.00	0.00
技術者名	28.5	0.00	9.50	0.00
	2.0	0.00	2.00	0.00
	25.0	0.00	25.00	0.00
	105.5	0.00	47.00	0.00
ICT施工・3次元等の活用提案	0.0	0.00	-8.00	0.00
合 計				0.00

○施工計画における評価項目と課題

項 目	課 題

*価格以外の評価点=(評点/満点)×持点割合とする。

*価格以外の評価は、入札参加者の自己申告調書(施工計画等を除く)により行う。

*落札候補者(総合評点の最高得点者)が決定した段階で、落札候補者のみから確認資料の提出を求める。

ただし、審査状況により複数の応札者に確認資料の提出を求める場合がある。

*虚偽の申告による応札は、無効とする。